

WATCH

韓国

震災で対日貿易赤字縮小
日本企業の対韓投資も増

「日韓交流おまつり2011」が9月25日、ソウルで行われた。7回目を迎えたこのイベントは、学生など民間ボランティアを中心に企画され、両国市民の交流の場に発展した。今年の来訪者数は昨年を上回る4万人と大いににぎわった。今年のテーマは「ありがとう韓国、がんばろう日本」。震災後の韓国市民からの支援へのお礼と、復興を目指す被災地への激励を表す場となった。

震災以降、日韓のビジネス関係には変化の兆しが見られる。サプライチェーンの見直し、円高、電力不足への対応などにより、日本の製造業の海外移転が進み、日韓の貿易バランスも変わりつつある。

例えば、韓国政府が長年懸案としてきた対日貿易赤字が縮小、今年上半年は前年同期比16%減少した。対日輸出の48%増が寄与した形だ。今後発生する復興需要で、韓国の対日輸出は増え、対日貿易赤字はさらに減少が予想される。

一方、今年上半年の日本企業の対韓投資額は、震災にもかかわらず同43%増加した。個別の出資企業を見ると、電子、自動車、化学などの部品素材分野が目立つ。

これらの統計からは、韓国メーカーが日本市場に攻め込みつつある構図と同時に、震災直後でも日本企業が海外市場で成長を確保しようとするしただかさや底力も示されたと言えるだろう。

(小林 中・韓国住友商事会社社長)

